

# ツキノワグマの特徴

体長：120～145cm  
 体重：40～130kg  
 視力：あまり良くない  
 聴力：非常に優れている  
 嗅覚：人の気配も嗅いで識別できる



## 食べものは

雑食性ですが、おもに山菜や木の実などの植物が中心です。特に好きなのは、春はブナの花、夏はアリやハチ類、秋はブナヤクリ、クルミなどの木の実などです。

## 行動範囲は

クマは大人になると30～70平方キロメートルの行動範囲をもっています。白山では1日に3キロメートルも移動した例があります。

## よく集まる場所は

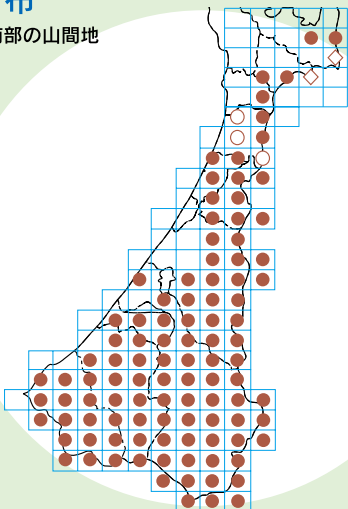
春は、沢沿い、夏はノイチゴの多い林やアリやハチの巣のあるところ、秋はクルミ、ドングリ、ヤマブドウなどの木の実の多い森です。人里近くの果実を食べるために出没することもあります。

## 活動する時間帯は

夏、一日の中で活発に活動するのは朝夕です。春、秋は昼もよく活動しています。人家の近くへは、夜間にやってくることもあります。

## 石川県での分布

七尾市以南の石川県南部の山間地



県内に約700頭が生息している。(H14～15の調査)

- 平成18年までの生息地域
- 平成19年出没地域
- ◇平成20年出没地域

# 相談・お問い合わせ先

●クマの出没、農林産物等の被害に関すること  
市役所、町役場の環境または農林などの担当課

市 町 名	担当課	電話番号
小 松 市	林務水産課	0761-24-8081
加 賀 市	農林水産課	0761-72-7910
能 美 市	農政課里山振興室	0761-55-8520
川 北 町	産業経済課	076-277-1111
白 山 市	林業水産課	076-272-1965
野々市町	産業振興課	076-227-6081
金 沢 市	森林再生課	076-220-2217
かほく市	農林水産課	076-281-3921
津 幡 町	産業経済課	076-288-6704
内 灘 町	環境政策課	076-286-6712
七 尾 市	農林水産課	0767-53-8422
羽 咋 市	農林水産課	0767-22-7138
志 賀 町	農林水産課	0767-32-9224
宝達志水町	農林水産課	0767-29-8240
中能登町	農 林 課	0767-76-2434

農林総合事務所	電話番号
南 加 賀	0761-23-1707
石 川	076-276-0528
県 央	076-204-2100
中 能 登	0767-52-2583

の各企画調整室

●クマの行動や生態に関すること

- ・石川県白山自然保護センター TEL 076-255-5321
- ・石川県林業試験場 TEL 076-272-0673

クマによる事故を防ぐために

# クマにご注意!!



## 出没情報をご連絡ください

連絡先は市役所又は町役場へ。「いつ」「どこで」見かけたか、「何をしていたか」などを、ご連絡ください。集団登下校など迅速な対応に役立ちます。

## 出没情報等をご覧いただけます

(お寄せいただいた情報は次のホームページから)

石川県 ツキノワグマ 出没情報

検索

<http://www.pref.ishikawa.jp/sizen/kuma/index.htm>

## 石川県環境部自然保護課

〒920-8580 金沢市鞍月1-1  
TEL : 076-225-1478  
FAX : 076-225-1479

E-mail : e170500@pref.ishikawa.lg.jp

# クマを引き寄せていませんか？

地域でできることは地域ぐるみで  
取り組みましょう

## 林を明るくしよう

集落や通学路近くの林は暗くありませんか？クマは身を隠すヤブがあると平気で人家近くまで出沒します。地域内を点検し、ヤブ刈りし明るくしましょう。また、カキなどの実は放置せず早めにとりましょう。



## ゴミは捨てない、置かない

人家のまわりでは、むやみに生ゴミなどを捨てたり、置いたりしないでください。

## ゴミにクマは誘われる

野菜くずや魚や肉などの生ゴミは、クマが好んで食べます。ゴミをクマに食べられないように、ゴミ箱とゴミの収集方法に充分気をつけてください。

(養鶏場、養魚場などは特に注意が必要です。)

## ゴミの味を覚えたクマは危険です

ゴミの味を覚えたクマは、その周辺に定着します。集落周辺に住みついたクマは危険なため、捕獲されることとなります。

### ■フン



ハイマツの実を食べたフン



カキの実を食べたフン

# クマと出会わないために！

クマは本来、大変臆病でおとなしい動物です。過度に恐れることはありません。人とクマとの出会いを避けることが大切です。

## 音で知らせよう！

山に入るときは、たとえ人家近くでも鈴やラジオなどの音の鳴るものを身につけ人間の存在をクマに知らせ、クマとの接近や出会いを防ぎましょう。

## 夕暮れ時は注意！

暗くなるとクマは人と出会う機会が減るということを知っており、エサ探しに夢中になって人間の接近に気づきにくくなります。暗くなる前に山をおり、クマとの出会いを避けましょう。

## ゴミは持ち帰ろう

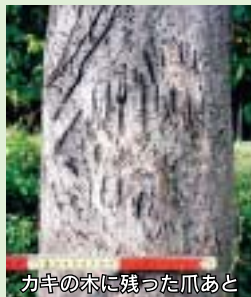
キャンプや登山、つりなどで出たゴミは放置せず、必ず持ち帰ってください。

山野にある墓地の供え物なども持ち帰ってください。

## 山菜とり、キノコとり、溪流つりでは…

夢中になっているとクマに近づいてしまうことがあります。茂みにはいるときは十分注意しましょう。また、水音や風向きで、クマも人もお互いに気づきにくくなります。常に周囲に気を配りましょう。

### ■爪あと



カキの木に残った爪あと

### ■足あと



# もし出会ってしまったら！

落ち着いて行動することが大切です



## すみやかに遠ざかりましょう

刺激しないようにし、あわてないで静かに立ち去りましょう。決して走って逃げたりしてはいけません（逃げるものを追いかける習性があります）。

## 子グマを見かけたら

子グマがいても、かわいいからといって近寄ってはいけません。母グマが必ず近くにいます。危険ですので、速やかに安全なところへ立ち去りましょう。

## もし近づいてきたら

大声を出さず、リュックサックなどの持ち物をひとつづつ置いて、クマの気をそらしながら、ゆっくり立ち去りましょう。

クマが離れても、置いた荷物を回収してはいけません。